





## 報告第8号

### 専決処分したものの報告について

市長に委任する専決処分事項の指定について（平成28年12月27日議決）の規定により、下記の事項について別紙のとおり専決処分したから、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第2項の規定により報告する。

令和4年6月16日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

### 記

#### 1 損害賠償の額を定めることについて







報告第9号

豊岡まちづくり株式会社第27期の決算及び第28期の事業計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和4年6月16日提出

豊岡市長 関貫久仁郎



豊岡まちづくり株式会社経営状況説明書

令和4年5月30日

豊岡まちづくり株式会社



# 事業報告

第27期

自 令和 3年4月 1日  
至 令和 4年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

## 第27期（令和3年度）事業報告

### 1 事業概況

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだことにより景気回復の兆しが見えたものの、デルタ株の感染拡大の影響で行動制限が強化されるなど、先行きの不透明な状況が続きました。また燃料価格や輸送コストの上昇、港湾の混雑、世界的な半導体不足や東南アジアでの新型コロナの感染拡大によるサプライチェーンの混乱も相まって、現在もなお景気回復ペースが減速化している状況です。

このような情勢の中ではありますが、積極的に販売活動等を展開し、事業全体での売上高は、対前年8,950千円増の147,640千円となりました。売上原価は、対前年3,854千円増の62,629千円でした。販売費及び一般管理費につきましては、アトリエショップ部門やアトリエネット部門の販促費・広告宣伝費等の増や、アトリエネット部門の売上増による支払手数料の増があり、全体で対前年5,364千円増の80,688千円となりました。よって、営業利益は、事業全体で対前年269千円減の4,322千円となりました。

これを事業部門についてみますと、次のとおりです。

### 2 アルチザン事業

#### （アトリエショップ部門）

コロナ禍での店舗の休業はなかったものの、前半は売上が減少しましたが、前期と同様豊岡市の消費推進事業である「EAT、BUY&GIFT豊岡」、「BUY豊岡鮑」等の効果もあり何とか盛り返しました。売上高は57,554千円と対前年4,304千円減少となったものの、営業利益は1,271千円と対前年491千円の増加となりました。

#### （アトリエネット部門）

ネット販売業務は、広告宣伝費をかけて販促活動を積極的に行ったため、サイトの訪問者数も順調に伸びました。特に10月から販売開始した漁網再生素材商品、ノベルティ等の特集が好調であった事により、期末には過去最高の売上高を計上する程ほぼ年間を通して前年度を上回りました。売上高は56,418千円と対前年10,940千円の増加、ただ、広告宣伝費と支払手数料が増えた結果、営業利益は1,918千円で対前年2,527千円の減少となりました。

(スクールⅠ部門)

前年と定員が同じで大きな変化はなく、東京から大分まで全国から12名の生徒が入校しました。感染予防対策を行いながら通常通りの運営をし、売上高は15,236千円で対前年436千円の増加となり、営業利益は1,168千円で対前年1,393千円の増加となりました。8年目を終え70数名の若者が豊岡を中心に巣立って行きました。アルチザンスクールでの熱い思いを持って今後も活躍されることを期待しています。

(スクールⅡ部門)

令和2年度より開校した財布専科講座では、第1クール7名、第2クール2名の生徒が入校し、卒業後は豊岡市の企業に就職される方があるなど、成果は十分あったように思われます。売上高は3,545千円で対前年1,313千円の増加となり、営業利益はマイナス2,835千円で対前年293千円の増加となりました。

### 3 学校給食配送事業

(給食配送部門)

豊岡市の委託業務で、令和3年度から令和5年度の3年間契約の初年度として、1年間学校給食を市内の小学校6校、中学校3校へ遅滞なく安全に届けることが出来ました。

売上高は14,885千円で対前年563千円の増加となり、営業利益は2,799千円で対前年80千円の増加となりました。

当社も会社設立から27年が経ち、また、アルチザン事業を立ち上げて8年が経過しました。ここまで来られたのも、偏に株主の皆様や関係各位のご理解とご協力のお蔭と感謝申し上げます。今後も更なる業績向上を目指し、役職員一丸となって邁進して参りますので、よろしく願い申し上げます。

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第24期 (平成30年度)	第25期 (平成31年度)	第26期 (令和2年度)	第27期 (令和3年度)
アルチザン事業	131,434	138,865	124,368	132,755
内訳	アトリエ	102,616	111,659	107,336
	スクール	28,818	27,206	17,032
学校給食配送事	12,175	13,268	14,322	14,885
合 計	143,609	152,133	138,690	147,640

◇営業成績の推移

(単位：千円)

区 分	第24期 (平成30年度)	第25期 (平成31年度)	第26期 (令和2年度)	第27期 (令和3年度)
営業利益	13,518	12,199	4,591	4,322
経常利益	13,950	13,346	9,933	6,216
当期純利益	10,180	9,974	7,644	4,870
総資産	128,776	132,078	137,862	143,082
純資産	97,447	107,422	115,067	119,938

2. 会社の概要（現況）

(1) 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	414株

(3) 役員の状況

	役 職 名	役 員 名
1	代表取締役	足立 哲宏
2	代表取締役	由利 昇三郎
3	取 締 役	植村 賢仁
4	取 締 役	谷口 啓志
5	取 締 役	宮下 栄司
6	取 締 役	坂本 成彦
7	取 締 役	卯野 隆也
8	取 締 役	衣川 克典
9	監 査 役	浮田 昌彦
10	監 査 役	塚本 繁樹

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人数	構成
社 員	7	男 4名、女 3名
パート	14	男 12名、女 2名
合 計	21	

## 貸借対照表

令和 4年 3月31日 現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 134,192,939】	【流動負債】	【 23,143,919】
現金・預金	119,515,515	買掛金	9,232,464
売掛金	9,881,684	未払費用	61,037
未収入金	42,870	未払金	1,067,609
商品・製品	2,669,223	未払法人税等	190,000
材 料	393,938	未払消費税等	3,187,900
貯蔵品	1,275,709	前受金	9,230,000
仮払金	150,000	預り金	174,909
前払費用	217,800		
前払金	144,200		
貸倒引当金	△98,000		
【固定資産】	【 8,889,346】	負債合計	23,143,919
【有形固定資産】	【 8,559,410】	純資産の部	
建物	723,157	【株主資本】	【 119,938,366】
建物附属設備	141,804	【資本金】	【 91,800,000】
構築物	1	【利益剰余金】	【 28,138,366】
工具器具備品	7,393,647	(その他利益剰余金)	( 28,138,366)
土地	300,801	繰越利益剰余金	28,138,366
【無形固定資産】	【 299,936】	(うち当期純利益)	( 4,870,719)
電話加入権	299,936		
【投資その他の資産】	【 30,000】		
出資金	30,000	純資産合計	119,938,366
資産合計	143,082,285	負債・純資産合計	143,082,285

## 損 益 計 算 書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
<b>【純 売 上 高】</b>		
アルチザン事業収入	132,755,618	
学校給食配送事業収入	14,885,000	147,640,618
<b>【売 上 原 価】</b>		
期 首 棚 卸 高	4,112,465	
仕 入 高	61,579,700	
合 計	65,692,165	
期 末 棚 卸 高	3,063,161	62,629,004
売 上 総 利 益		85,011,614
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		80,688,967
営 業 利 益		4,322,647
<b>【営 業 外 収 益】</b>		
受 取 利 息	1,734	
受 取 配 当 金	400	
雑 収 入	2,046,573	2,048,707
<b>【営 業 外 費 用】</b>		
雑 損 失	155,195	155,195
経 常 利 益		6,216,159
税引前当期純利益		6,216,159
法人税、住民税及び事業税		1,345,440
当 期 純 利 益		4,870,719

## 販売費及び一般管理費

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
給 料 手 当	37,898,907	
退 職 金	220,000	
業 務 委 託 費	4,727,111	
法 定 福 利 費	4,628,166	
福 利 厚 生 費	1,410,096	
広 告 宣 伝 費	6,305,244	
運 賃	1,786,952	
旅 費 交 通 費	274,688	
教 材 費	885,443	
商 品 開 発 費	39,526	
車 輛 管 理 費	1,388,553	
通 信 費	276,917	
水 道 光 熱 費	1,432,618	
租 税 公 課	399,600	
消 耗 品 費	1,284,341	
事 務 費	889,045	
賃 借 料	558,330	
車 輛 賃 借 料	1,533,006	
減 価 償 却 費	2,344,843	
修 繕 費	79,000	
保 険 料	1,002,210	
支 払 手 数 料	9,880,555	
負 担 金	174,880	
リ ー ス 料	545,400	
交 際 費	230,120	
会 議 費	16,565	
寄 附 金	1,000	
雑 費	464,851	
貸倒引当金繰入	11,000	80,688,967
合 計		80,688,967

## 部 門 別 損 益

自令和 3年 4月 1日 至令和 4年 3月31日

(単位：円)

	総合計	アルチザン・アトリエ ショップ部門	アルチザン・アトリエ ネットショップ部門	アルチザン・スクール①部門	アルチザン・スクール②部門	学校給食配送 事業部門
I 売上高	147,640,618	57,554,900	56,418,897	15,236,364	3,545,457	14,885,000
II 売上原価	62,629,004	32,620,182	30,008,822	0	0	0
III 売上総利益	85,011,614	24,934,718	26,410,075	15,236,364	3,545,457	14,885,000
IV 販売費及び一般管理費	80,688,967	23,663,623	24,491,549	14,067,676	6,380,564	12,085,555
V 営業利益	4,322,647	1,271,095	1,918,526	1,168,688	△ 2,835,107	2,799,445

## 株主資本等変動計算書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日  
(単位：円)

	株 主 資 本				株主資本合計	純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金	利益剰余金			
当期首残高	91,800,000	23,267,647	23,267,647	23,267,647	115,067,647	115,067,647
当期変動額						
当期純利益		4,870,719	4,870,719	4,870,719	4,870,719	4,870,719
当期変動額合計	0	4,870,719	4,870,719	4,870,719	4,870,719	4,870,719
当期末残高	91,800,000	28,138,366	28,138,366	28,138,366	119,938,366	119,938,366

## 個 別 注 記 表

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

### 2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について  
法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引  
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

### 3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 13,310,430円

(2) 国庫補助金等で取得した固定資産について、取得価額から次の圧縮記帳額を  
控除しております。(第18期、第19期及び第20期)

土地	26,066,398円
建物	71,248,946円
建物附属設備	25,744,945円
その他固定資産	18,245,567円
計	141,305,856円

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 当期末発行済株式数 1,836株

(2) 配当に関する事項

① 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

令和4年5月30日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を  
次のとおり提案しております。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	1,836,000円
1株当たり配当額	1,000円
基準日	令和 4年 3月31日
効力発生日	令和 4年 5月31日

豊岡まちづくり株式会社

別紙の通り報告致します。

令和 4年 5月30日

豊岡まちづくり株式会社

代表取締役社長	足立 哲宏
代表取締役副社長	由利 昇三郎
取締役	植村 賢仁
取締役	谷口 啓志
取締役	宮下 栄司
取締役	坂本 成彦
取締役	卯野 隆也
取締役	衣川 克典

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

令和 4年 5月13日

監査役	浮田 昌彦
監査役	塚本 繁樹

## 監査報告書

豊岡まちづくり株式会社 様

### 監査の結果

私監査役は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第27期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

尚、当会社の監査役は、定款第4条の定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されている為、事業報告を監査する権限は有しておりません。

#### 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の状況を聴取し、会計に関する重要書類等を閲覧致しました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）及びその附属明細書について検討致しました。

#### 2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法かつ正確に表示しているものと認めます。

令和4年5月13日

監査役

浮田 昌彦

塚本 繁樹

## 第1号議案

### 第28期（令和4年度）事業計画及び収支計画（案）

#### 1 計画概要

令和4年度の当社の事業としましては、アルチザン事業のアトリエショップ部門、アトリエネット部門、及び靴職人養成のスクールⅠ部門、そして学校給食配送事業の給食配送部門の2事業4部門に取り組みます。財布革小物製作講座のスクールⅡ部門については、講師不在のため一時休校致します。準備が整い次第再開する予定です。

アルチザン事業につきましては、当社の基幹事業である豊岡カバンを引き続き全国へ情報発信すると共に、更なる集客・販売に向けて、靴企業の方々と連携して参ります。

ただし、前年に続きまだコロナ禍で不確定要素が多いため、慎重に対応し取り組んで参ります。

#### 2 アルチザン事業

##### （アトリエショップ部門）

コロナ禍により店舗の売上は不確定要素が多いため、予測が難しい状況ですが、先を見据えた店舗づくり・運営を重点に考え、取り組んで参ります。更に今年度はショップの改装を計画しており、新規顧客はもちろんリピーターへの満足度向上と、アフターコロナ・2025年の万博も見据え、魅力ある売り場作りを行い、ショップはもちろん周辺商店街の集客にも繋げられるよう運営してまいります。

純売上高としましては、対前年20,445千円増の78,000千円を見込んでおります。また、販売費及び一般管理費は、対前年4,836千円増の28,499千円と見込み、営業利益は対前年3,302千円増の4,573千円と想定しております。

##### （アトリエネット部門）

純売上高は、対前年9,581千円増の66,000千円を見込んでおります。また、販売費及び一般管理費は対前年1,433千円増の25,924千円と見込み、よって営業利益は対前年142千円増の2,060千円と想定しております。

こちらもショップの改装により、全国に向けて「靴のまち」として情報発信し、販売数の増加を目指してまいります。

(スクールⅠ部門)

令和4年度のアルチザンスクールには、北海道や熊本県など全国各地から13名が入校しました。1年後には靴産業の戦力になっていくものと期待しております。

収益につきまして、授業料等収入は対前年2,704千円増の17,940千円となり、販売費及び一般管理費は対前年1,233千円増の15,300千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年1,472千円増の2,640千円と想定しております。

(スクールⅡ部門)

令和4年度に関しては、一時休校と致します。

### 3 学校給食配送事業

(給食配送部門)

豊岡市の委託事業であり、令和3年2月に一般競争入札により3年間の業務を受託しました。例年どおり安全管理を怠ることなく運営してまいります。

純売上高は委託料で、対前年850千円減の14,035千円となります。販売費及び一般管理費は、対前年760千円増の12,845千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年1,609千円減の1,190千円を想定しております。

### 4 総合収支計画

総合では、純売上高は全体で売上増を見込み、対前年28,335千円増の175,975千円と想定しております。売上原価は対前年20,315千円増の82,944千円と見込み、販売費及び一般管理費は対前年1,879千円増の82,568千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年6,141千円増の10,463千円と想定しております。

ただし、昨年同様コロナ禍のため、引続き困難な運営が予想されます。

少しでも目標の利益が確保できるよう、役職員一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましても引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第28期 令和4年度収支事業計画

豊岡まちづくり株式会社

税抜(千円)

科 目	第27期	第28期							備 考
	総 合	対前期 増減	総合(合計)	アトリエ部門 ショップ	アトリエ部門 ネット	スクール部 門Ⅰ	スクール部 門Ⅱ	給食配送 部門	
純売上高	147,640	28,335	175,975	78,000	66,000	17,940	0	14,035	
売上原価	62,629	20,315	82,944	44,928	38,016	0	0	0	
販売管理費	80,689	1,879	82,568	28,499	25,924	15,300	0	12,845	
営業利益	4,322	6,141	10,463	4,573	2,060	2,640	0	1,190	
営業外収益	2,049	△ 2,049	0	0	0	0	0	0	
営業外費用	155	△ 155	0	0	0	0	0	0	
経常利益	6,216	4,247	10,463	4,573	2,060	2,640	0	1,190	
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	
税引前純利益	6,216	4,247	10,463	4,573	2,060	2,640	0	1,190	

報告第10号

一般社団法人豊岡観光イノベーション第6期の決算及び第7期の事業  
計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙の  
とおり報告する。

令和4年6月16日提出

豊岡市長 関貫久仁郎



## 決算等の状況の報告

一般社団法人豊岡観光イノベーション



## 事業の概要と成果

新型コロナウイルス感染症が引き続き世界で拡大しており、2020年3月中旬から続く日本政府による観光目的の入国拒否、査証の制限等により、訪日外国人観光客は激減しています。その影響により、豊岡市の2021年上半期の外国人延べ宿泊者数は248人泊(2019年比99.3%減)と低調が続いています。

2021年度の経営方針として、2020年度より本格的に取り組んできた国内マーケティング強化による国内観光客誘客、また、海外観光客誘客では比較的早い訪日回復が期待できる台湾市場からの誘客を進めることを掲げ、①地域全体で感染症対策を強化し、誘客を促進する、②デジタルマーケティングによる認知拡大、観光客の増加に貢献する、③メディアへの露出を増やし、当地域の認知を拡大する、④旅行会社の商品造成を促進する、⑤観光客の地域内の周遊を促し、平均泊数を拡大する、⑥「関係性」、「信頼性」主体とするマーケティングに取り組む、⑦事業パートナーとの関係強化により、Win-Win関係を構築する、⑧行政(豊岡市・京丹後市等)や他のDMOとの連携による相乗効果を追求する、⑨DX基盤の構築、及び運用の仕組みを確立する、の項目について、取り組みました。

豊岡市新型コロナウイルス感染症対策認証制度「CLEAN & SAFE TOYOOKA」における、3月末時点の認証施設数は、市内全施設の約半数となる1,057件となり、合わせて実際の対策状況を確認する実地調査を118件行いました。

国内向け体験予約サイト「ふらっと、リトリート TOYOOKA」においては、市内の体験プログラム販売やイベント実施により、612名の参加者となりました。また、特別キャンペーンとして、コロナ禍における外出自粛からの反転としての夏季および冬期誘客促進事業を実施しました。

海外観光客誘客事業においては、早期訪日回復が予測されていた台湾市場に向けて、2020年度に製作した動画を更新し、動画広告の配信を行いました。訪日回復に向けて商品造成等の動きのある海外旅行会社宛に95社と商談を行い、メディアへの露出については、コロナ禍ではありましたがWEB媒体を中心に前年比222.2%増の1,033件掲載され、広告換算額7,489万円の成果となりました(広告換算できたのは121媒体)。また、世界的なSDGsの取組推進のもと、持続可能な観光地づくりの一環として、国際認証機関であるグリーンDESTINATIONSが実施する「世界の持続可能な観光地100選」に申請を行い、選定されました。

地域からの要望を発端として議論されてきた宿泊予約データを収集する仕組みとして、「豊岡観光DX推進協議会」を設立し、事務局として、豊岡観光データ基盤を整備しました。当協議会には市内44か所の宿泊事業者が会員として加盟し、各宿泊データを提供いただき、同協議会で収集するとともに、宿泊プラン単価や、客室在庫数の判断に活用できるデータなどをお示しすることによって、経営管理に活用いただく仕組みを構築しました。

豊岡市観光地プレミアム券換金業務による手数料などの収入もあり、結果として、損益状況は、営業利益2,387千円、営業外収益11,688千円となり、当期経常利益は14,074千円、税引後の当期純利益は、10,496千円となりました。関係者の皆様方のご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取り組みましたことをご報告いたします。

## 一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

### 1. 設立日

2016年6月1日

### 2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

### 3. 役員

理事長 関貫 久仁郎

副理事長 桐山 徹郎

副理事長 西上 均

事業本部長 井澤 雄俊

理事 村瀬 茂高

倉橋 建

川上 晃弘

高宮 浩之

武田 和徳

大社 充

坂本 成彦

監事 作花 良祐

### 4. 事業本部職員

事業本部長（理事、派遣職員） 1名

派遣職員 3名

嘱託・臨時職員 6名

### 5. 基金拠出額

28,700 千円

# 決 算 報 告 書

第 6 期

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月 31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション  
貸借対照表  
2022年 3月31日 現在

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	72,604,583	I 流動負債	26,782,063
1 現金	28,798	1 未払金	22,038,308
2 預金	13,171,515	2 未払法人税等	3,577,900
3 売掛金	0	3 預り金	43,555
4 前払金	0	4 仮受金	0
5 立替金	0	5 未払消費税等	1,122,300
6 未収入金	59,404,270	II 固定負債	0
II 固定資産	3,333,647	負債合計	26,782,063
1 有形固定資産	333,647	純資産の部	
・一括償却資産	333,647	I 純資産	49,156,167
2 無形固定資産	0	1 基金	28,700,000
・ソフトウェア	0	2 利益剰余金	20,456,167
3 投資その他の資産	3,000,000	・繰越利益剰余金	20,456,167
・差入保証金	3,000,000	純資産合計	49,156,167
資産合計	75,938,230	負債・純資産合計	75,938,230

## (一社)豊岡観光イノベーション

## 損益計算書

自 2021年 4月 1日  
至 2022年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
<b>I 純 売 上 高</b>		
1) Visit Kinosaki 手数料	19,497	
2) ツアー等売上高		
・着地型ツアー、体験プログラム	2,173,877	
・旅行会社ツアー	703,770	
・ふるさと納税返礼品プログラム	255,210	
3) 視察売上高	222,052	
4) 振興券手数料	10,444,539	
5) 会費収入	1,590,000	小計 15,408,945
6) 委託料収入	60,302,245	
・Visit Kinosaki 運用	3,894,000	
・海外プロモーション事業	4,102,815	
・国内向け誘客促進事業	1,603,540	
・国内向け情報発信業務	3,289,000	
・宿泊旅行商品造成促進事業業務	4,150,000	
・夏期誘客広告宣伝業務	1,199,000	
・観光施策評価指標データ収集	1,802,000	
・観光データ基盤構築及び運用業務	34,438,000	
・アンケート委託事業	200,000	
・ネオカルTOYOOKA WEBページコーディング作業	27,500	
・フラップトヨオカ管理運営	461,700	
・地域観光資源による域内連携促進実証事業	5,101,690	
・但馬周遊モデルルート修正業務	33,000	小計 60,302,245
	<b>75,711,190</b>	
<b>II 売 上 原 価</b>		
1) ツアー等関連経費		
・着地型ツアー、体験プログラム	1,676,669	
・旅行会社ツアー	446,970	
2) 外注費(委託料関連経費)	0	
3) 視察関連経費	5,000	
	<b>2,128,639</b>	
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>73,582,551</b>	
<b>III 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費</b>		
1) 給料手当	5,711,115	
2) 賞与	1,241,790	
3) 法定福利費	912,868	
4) 厚生生活費	11,704	
5) 広告費	9,908,732	
6) 旅費	27,600	
7) 交際費	3,000	
8) 会議費	108,314	
9) 車両費	125,448	
10) 通信費	377,881	
11) 水道光熱費	281,090	
12) 租税公課	267,100	
13) 消耗品費	721,737	
14) 共益費	240,000	
15) 賃借料	1,392,000	
16) リリース料	906,036	
17) 修繕費	3,500	
18) 保険料	108,567	
19) 支払手数料	3,175,218	
20) 諸会費	11,375	
21) 減価償却費	550,287	
22) 委託費	43,203,690	
23) 研修費	48,400	
24) 消費税	1,858,500	
	<b>71,195,952</b>	
<b>営業利益</b>	<b>2,386,599</b>	
<b>IV 営 業 外 収 益</b>		
1) 受取利息	667	
2) 市補助金収入	6,897,127	
3) 県補助金収入	0	
4) 国補助金収入	4,763,000	
5) 雑収入	27,000	11,687,794
<b>V 営 業 外 費 用</b>		
1) 支払利息	0	
2) 雑損益	0	0
<b>経 常 利 益</b>	<b>14,074,393</b>	
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>	<b>14,074,393</b>	
法人税、住民税及び事業税	3,578,002	
当 期 純 利 益	<b>10,496,391</b>	

## 個 別 注 記 表

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - (1) 固定資産の減価償却の方法
    - 有形固定資産・・・定率法
    - 無形固定資産・・・定額法
  - (2) 消費税等の会計処理
    - 消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

別紙の通り報告致します。

令和 4年 5月24日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

代 表 理 事	関 貫 久 仁 郎
副 理 事 長	桐 山 徹 郎
業 務 執 行 理 事	井 澤 雄 俊
理 事	谷 口 雄 彦
理 事	村 瀬 茂 高
理 事	倉 橋 建
理 事	川 上 晃 弘
理 事	武 田 和 徳
理 事	大 社 充
理 事	高 宮 浩 之

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

令和 4年 5月17日

監 事 作 花 良 祐

## 事業の概要

世界的に新型コロナウイルス感染症拡大の状況は引き続いていますが、感染者などの状況を鑑み、国によっては海外渡航規制撤廃の対応を行うなど、海外観光客の受入れが始まっています。日本政府による観光目的の入国においても規制緩和の検討がなされており、訪日観光回復の兆しも窺え始めたところです。また、国内の感染症対策の緩和に伴い、国内旅行需要の回復の傾向もあります。

このため、7期目となる2022年度は、訪日観光再開に向けた海外観光客誘客事業について、準備を含めて本格的に取り組む、国内観光客誘客においては、国内マーケティングの更なる強化および観光客と地域の交流を促進するコミュニティツーリズムを推進します。依然として、国内外ともに同感染症拡大に依り観光需要が左右される状況が考えられますが、状況に対応しながら、反転攻勢として観光客誘客を行います。

豊岡観光DX推進協議会の事務局として、2021年度に構築した豊岡観光DX基盤の運用を引き続き行うとともに、今期は、地域と協議しながら、CRM（Customer Relationship Management）の一環として、地域アプリの開発および普及に取り組み、市内周遊促進を図ります。

国内観光客誘客においては、Webを活用したマーケティング、マイクロツーリズムを意識した着地型体験プログラムの造成、夏季誘客キャンペーンなどの特別キャンペーンを引き続き行うとともに、デジタルスタンプラリーによる周遊促進事業、近隣DMOと連携した首都圏向けツアー造成などの誘客事業に取り組みます。

海外観光客誘客においては、引き続き情報発信を実施するとともに、訪日回復を見込んで、外国人観光客向けのツアー・体験プログラムの造成、ひょうご観光本部、近隣DMO等との広域連携による海外現地へのプロモーションなど、訪日回復時に備えて、事業を加速して取り組みます。前期で国際的評価を受けた持続可能な観光まちづくりにおいては、今期は持続可能な観光コンテンツのツアー造成および地域事業者の意識醸成について、近畿運輸局、豊岡市ともに取り組みます。また、観光プロモーションだけでなく、産業連携により、豊岡鞆の海外向け販路拡大にも取り組んでまいります。

前期に続き、厳しい状況ではありますが、観光需要回復の兆しが窺えます。ただし、同感染症拡大状況を鑑みながら、地域の事業者がこの状況を乗り越えていけるよう、役割を果たしてまいりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## (一社)豊岡観光イノベーション

## 予定損益計算書

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
<b>I 純 売 上 高</b>		
1) Visit Kinosaki 手数料	200,000	
2) ツアー等売上高		
・ 着地型ツアー、体験プログラム	3,200,000	
・ 旅行会社ツアー	500,000	
・ ふるさと納税返礼品プログラム	350,000	
3) 視察売上高	100,000	
4) 会費収入	1,600,000	小計 5,950,000
5) 委託料収入		
・ 外国語版ホームページ運用事業	3,894,000	
・ 海外プロモーション事業	2,468,000	
・ 国内WEBマーケティング業務	3,663,000	
・ 国内向けホームページ改修業務	1,700,000	
・ 豊岡観光DX地域アプリ開発業務	20,000,000	
・ 観光施策評価指標データ収集	1,802,000	
・ 国内誘客キャンペーン業務	1,199,000	
・ 高付加価値ツアーリズム推進	3,987,000	
・ 市内周遊促進事業	10,340,000	
・ フラットトヨタオカ管理運営	462,000	
	<u>55,465,000</u>	小計 49,515,000
<b>II 売 上 原 価</b>		
1) ツアー関連経費		
・ 着地型ツアー、体験プログラム	2,500,000	
・ 旅行会社ツアー	350,000	
2) 視察関連経費		
・ 視察関連経費	30,000	
	<u>2,880,000</u>	
<b>売 上 総 利 益</b>		
	<u>52,585,000</u>	
<b>III 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費</b>		
1) 給料手当	10,542,000	
2) 賞与	1,713,067	
3) 法定福利費	1,348,263	
4) 福厚宣生費	300,000	
5) 広告費	10,000,000	
6) 旅交通費	500,000	
7) 交際費	300,000	
8) 会議費	100,000	
9) 車両費	180,000	
10) 通信費	450,000	
11) 水道光熱費	280,000	
12) 租税公課	120,000	
13) 消耗品費	500,000	
14) 共益費	240,000	
15) 賃貸料	1,392,000	
16) リリース料	1,075,404	
17) 修繕費	4,000	
18) 保険料	102,410	
19) 支払手数料	902,600	
20) 諸会費	12,000	
21) 減価償却費	300,000	
22) 委託修繕費	24,375,000	
23) 研修費	0	
24) 消費税等	4,454,000	
	<u>59,190,744</u>	
<b>営 業 利 益</b>		
	<u>▲ 6,605,744</u>	
<b>IV 営 業 外 収 益</b>		
1) 受取利息	180	
2) 市補助金収入	10,700,000	
3) 国等補助金収入	0	
4) 雑収入	50,000	
	<u>10,750,180</u>	
<b>経 常 利 益</b>		
	<u>4,144,436</u>	
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>		
	<u>4,144,436</u>	
<b>法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税</b>		
	<u>1,243,000</u>	
<b>当 期 純 利 益</b>		
	<u><u>2,901,436</u></u>	



報告第11号

株式会社日高振興公社第28期の決算及び第29期の事業計画に関する  
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和4年6月16日提出

豊岡市長 関 貫 久 仁 郎



# 決算等の状況の報告

株式会社 日高振興公社

## 株式会社 日高振興公社 第28期 事業報告

### 1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、新型コロナウイルス感染症に伴う、緊急事態宣言を受け、兵庫県は4月25日から6月20日、8月20日から9月30日の99日間発出しました。時短営業や休業要請、不要不急の外出を控えるなどの自粛要請により、経済全体に深刻な影響を与えています。特に兵庫県内の倒産件数は2021年度313件で、コロナ禍に伴う支援策により、前年度比25.1%減少しましたが、小売業87件、飲食業83件と依然厳しい状況に変わりはありません。

また、神鍋高原の夏季観光客の入込状況は8月に悪天候と緊急事態宣言の実施により、約12万人(前年約15万7千人)前年比76%となりましたが、冬季は12月後半からシーズンを通して安定的な降雪に恵まれ、神鍋高原スキー場は約14万人(前年約10万8千人)前年比130%となり、賑わいを取り戻しました。ただし、経済支援クーポンは1,464万円(前年2,088万円)前年比70%となり、大変厳しい状況の中で1年を終えました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、神鍋高原のおみやげ開発などに取り組んで参りました。

従業員の職務能力向上を図るため、県内の道の駅訪問や意見交換、コンサルタントの指導、更なる地元企業・高校生との連携強化により、店舗展開(坪単価・客単価アップ)や「個性ある道の駅づくり」のための研修を行いました。

また、毎月開催している社員会議では、各部門ごとに経費実態・新規イベント計画・新商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施しました。特に、本事業年度は労働時間の見直し、効率的な仕入れの実施、新型コロナウイルスの感染状況に応じた運営等についても全従業員で取り組みました。

#### ○来客数

道の駅「神鍋高原」	105,239人	(前年度比:105%	4,883人)
神鍋温泉ゆとろぎ	61,074人	(前年度比:113%	7,050人)

結果、当事業年度における業績は、

売上高	172,496千円	(前年度比:102%	3,871千円)
営業利益	△2,987千円	(前年度比:—%	4,082千円)
経常利益	2,302千円	(前年度比:64%	△1,290千円)
当期純利益	1,572千円	(前年度比:48%	△1,732千円)
		(前年度:3,304千円)	となりました。

## (1) 道の駅「神鍋高原」

### ① 売店部門

当事業年度は高校生の連携強化を図り、但馬農業高校から新たに野菜や苗、メロンの販売など、取り扱い商品を増やしました。さらに、山陰海岸ジオパークのエリア内にある鳥取湖陵高校と新規取引を開始し、50年以上生徒により作り続けられてきた福神漬けの販売を開始しました。また、兵庫県温泉地お土産購入券、ひょうごを旅しようキャンペーンや豊岡市プレミアム付き応援商品券やとよおか旅クーポン等、経済支援クーポンの利用が12,846千円となり、売店部門の売上全体の12%を占めました。

新たな取り組みとして、4月に魚介類販売業の許可を取得し、神鍋清流サーモンの鮮魚販売を開始しました。さらに、おとしし取得した食肉販売業の許可を活かし、夏季はキャンプ向けの焼き肉用、冬季にはすき焼き用の美方但馬牛の販売を開始しました。

お正月に先駆け地元産のしめ縄を販売し、神社からの依頼があるなど評判も良く、12月には第1回しめ縄作り教室を開催し、日本の伝統文化に触れていただきました。

また、9月にはイベントホール2階に山陰海岸ジオパークの展示室、3階に神鍋高原展望台をオープンし、多くのお客様に利用して頂きました。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品（PB商品）と位置付け、他店舗との差別化を図りました。

○高校生商品	年間販売数： 6,367 個	売上金額： 1,907 千円
○よりどり3個セット	年間販売数： 1,110 個	売上金額： 1,110 千円
○キャベツチップ	年間販売数： 2,168 個	売上金額： 1,011 千円
○ほんまもん神鍋	年間販売数： 10,111 個	売上金額： 6,572 千円
○日高みそ関連商品	年間販売数： 1,986 個	売上金額： 931 千円

### ② 飲食部門

毎年7月・8月に開催する「全但バス神鍋線利用促進イベント」の「神鍋 BeerNight」は今年で10年目を迎えましたが、8月2日から8月19日の18日間、まん延防止等重点措置の発出により、1回しか開催できませんでした。客数45名、売上金額122千円、バス乗客22名、昨年より274名減少、売上金額775千円減少となり、前年比14%と減少しました。

平日の利用促進として、お食事処かなべの暖簾や但馬牛すじカレーの幟旗の作成、お客様アンケートの実施、神鍋清流サーモン丼の試験販売など、内容の改善に努めました。継続して、コロナ禍でのテイクアウト需要を見込み、お弁当や惣菜等販売を強化し、販売数量3,497個、売上金額1,132千円となりました。また、サービスの一環として、電子レンジを新設し、冬季でも温めて持ち帰れるようになりました。

土、日、祝日のランチビュッフェでは売店で販売している高校生・お土産商品を使用し、相乗効果を図りました。また、営業期間に関して、6ヶ月中止、8月から1月までの開催となりました。客数4,877名、売上金額5,136千円となり、昨年より客数922名減少、売上金額1,089千円減少となりました。

1年を通して緊急事態宣言99日間、まん延防止等重点措置113日間、合計212日

間あり、社会情勢を予測しながらの運営は大変厳しいものがあり、集客が見込めない中で、メニュー構成や仕入れの見直し等、より効率的な運営に努めました。

## (2) 神鍋温泉ゆとろぎ

昨年度から消費増税に伴う価格改定を段階的に行っており、4月から大人700円(前年650円)、小人450円(前年420円)に価格改定を行いました。また、ひょうごを旅しようキャンペーンやとよおか旅クーポン等、経済支援クーポンの利用が527千円となり、売上に貢献しました。

本年度、スキー場は降雪により賑わい、「スキーリフト券利用者割引」の利用者は8,901名(前年比129%)と増加しました。さらに全但バス神鍋線160名(前年比113%)、フォレストアドベンチャー奥神鍋372名(前年比63%)、パラグライダースクール31名(前年比69%)、と提携した割引サービスは効果がありました。

本年度の取り組みとして、①お客様アンケートを実施し、特に要望が多かった、休憩スペースのリクライニングチェア設置を実施し、多くのお客様から大好評でした。②「入浴料とフェイスタオル、バスタオル」が付いた入浴セットの販売が好調で、年間2,483セット、売上金額2,693千円(前年比179%)となり、2年目を迎え、定番商品として浸透し、安定した売上に繋がりました。

毎週水曜日に休館日を設け、お客様に安全かつ気持ち良く利用していただく様にレジオネラ菌の発生やコロナ感染を防ぐ為の清掃・消毒等の徹底をしました。また、営業に支障が出ない様に貯水槽や機械設備等の修繕工事を実施し、保守管理の改善に取り組みました。

## 2 事業実績

### 売上高の推移

単位：千円

区 分	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期
売店部門	125,684	116,322	107,315	113,343	107,367
飲食部門	41,477	36,015	32,510	17,835	21,622
温泉部門	41,654	38,382	37,654	33,477	39,483
市受託料	4,026	4,006	3,954	3,969	4,024
合 計	212,841	194,725	181,433	168,624	172,496

### 営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期
経常利益	5,306	4,109	△3,195	3,592	2,302
当期純利益	5,094	3,898	△2,600	3,304	1,572
総資産	39,231	37,761	34,296	70,317	72,338
純資産	21,299	25,196	22,597	25,901	27,473

## 3 会社の概要

### (1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

### (2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

### (3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	岡 森 且 哉
専務取締役	久 田 喜三郎
取 締 役	岡 藤 泰 明
取 締 役	小 谷 士 郎
取 締 役	村 上 勝 幸
取 締 役	細 谷 文 夫
監 査 役	谷 口 雄 彦
監 査 役	玉 置 孝 至

### (4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社 員	5	男性 3 人、女性 2 人
パート	15	男性 2 人、女性 13 人
計	20	男性 5 人、女性 15 人



決 算 報 告 書

第 28 期

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

# 貸借対照表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

令和 4年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 68,003,463】	【流動負債】	【 14,866,058】
現金及び預金	64,575,936	買掛金	1,447,086
売掛金	432,049	受託未払金	2,907,669
商品	423,974	未払金	7,077,960
原材料	510,867	預り商品券	17,500
貯蔵品	325,677	預り金	116,843
未収入金	1,734,960	預り敷金	100,000
【固定資産】	【 4,334,804】	法人税等充当金	732,500
(有形固定資産)	( 4,048,070)	未払消費税	2,466,500
建物	2,767,869	【固定負債】	【 30,000,000】
建物附属設備	69,279	長期借入金	30,000,000
車両運搬具	2	負債の部計	44,866,058
工具器具備品	1,210,920	純資産の部	
(無形固定資産)	( 286,734)	【株主資本】	【 27,472,209】
ソフトウェア	286,734	[資本金]	[ 36,000,000]
		[利益剰余金]	[ Δ8,527,791]
		利益準備金	9,000,000
		(その他利益剰余金)	( Δ17,527,791)
		繰越利益剰余金	Δ17,527,791
		(うち当期純利益)	( 1,571,607)
		純資産の部計	27,472,209
資産の部計	72,338,267	負債・純資産の部計	72,338,267

# 損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 4年 3月31日

科 目	金	額
<b>【売 上 高】</b>		
売 店 売 上	107,367,075	
市事業委託料等	4,023,652	
レストラン売上	21,621,855	
温 泉 売 上	39,482,969	172,495,551
<b>【売 上 原 価】</b>		
期首棚卸高	983,675	
仕 入 高	75,646,045	
材 料 費	8,670,861	
合 計	85,300,581	
期末棚卸高	934,841	84,365,740
売 上 総 利 益		88,129,811
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		91,116,887
营 業 利 益		△2,987,076
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息	603	
雑 収 入	5,288,467	5,289,070
経 常 利 益		2,301,994
税引前当期純利益		2,301,994
法人税等充当額		730,387
当 期 純 利 益		1,571,607

## 販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	4,313,800
給 料 手 当	33,165,060
福 利 厚 生 費	5,967,340
雑 給	6,208,451
シルバー委託費	1,819,620
広 告 宣 伝 費	1,872,559
運 賃	86,580
燃 料 費	5,276,839
衛 生 費	5,960,717
水 道 光 熱 費	10,434,412
会 議 費	116,479
事 務 費	1,400,335
消 耗 品 費	2,050,766
地 代 家 賃	38,100
支 払 保 険 料	447,120
修 繕 費	1,004,990
租 税 公 課	4,679,100
減 価 償 却 費	1,031,331
接 待 交 際 費	157,493
旅 費 交 通 費	48,720
通 信 費	390,024
支 払 手 数 料	3,362,212
賃 借 料	719,680
諸 会 費	387,765
購 読 費	58,364
雑 費	119,030
合 計	91,116,887

# 株主資本等変動計算書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月 31日

株式会社 日高振興公社	株 主 資 本										新株予約権	純資産合計	
	資 本 金		資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		資 剰 余 金		株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金	其 他 剰 余 金	利 益 剰 余 金	其 他 剰 余 金	利 益 準 備 金	其 他 剰 余 金	株 合 計	本 計			
当期首残高	36,000,000					9,000,000	△19,099,398			25,900,602		25,900,602	
当期変動額										1,571,607		1,571,607	
当期純利益							1,571,607			1,571,607		1,571,607	
当期変動額合計							△17,527,791			27,472,209		27,472,209	
当期末残高	36,000,000					9,000,000	△17,527,791			27,472,209		27,472,209	

	利 益 剰 余 金 の 内 訳		利 益 剰 余 金 計
	利 益 準 備 金	繰 越 剰 余 金	
当期首残高	9,000,000	△19,099,398	△10,099,398
当期変動額		1,571,607	1,571,607
当期純利益		1,571,607	1,571,607
当期変動額合計	9,000,000	△17,527,791	△8,527,791
当期末残高			

# 個 別 注 記 表

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 4年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 資産の評価基準及び評価方法

#### たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法

### 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 ……… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に

取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 ……… 定額法

### 収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

## 2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 ……… 37,867,174 円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 720 株

当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

## 4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 38,155 円 84 銭

1株当たりの当期純利益 …………… 2,182 円 78 銭

## 監 査 報 告

私監査役は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第28期事業年度における貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和4年5月23日

監査役 谷口雄彦

監査役 玉置孝至

## 報 告 書

上記のとおりご報告申し上げます。

令和4年6月2日

株式会社 日高振興公社

代表取締役社長 岡森且哉

専務取締役 久田喜三郎

取締役 小谷士郎

取締役 細谷文夫

取締役 村上勝幸

取締役 岡藤泰明

## 株式会社 日高振興公社 第29期（次期）事業計画及び予定損益計画

### 事業計画

国内では、ガソリン価格が高騰しているほか、原材料や加工・輸送コストの増加により食料品の品目も広範囲に上昇しています。さらに、電気・ガス料金は、原油価格に約半年遅れて変動するため、少なくとも夏場まで高止まりすることが必至な情勢です。

こうした中、企業は輸入物価上昇を価格転嫁できず、収益が圧迫されています。一方、家計は、所得が増えない中、旅行・外食・嗜好品といった選択的支出を抑制せざるを得ず、GDPの約6割を占める個人消費は、強い下押し圧力を受けています。

これらを踏まえ、当社では、①価格高騰によるお土産商品や仕入れ食材の見直しなど商品管理の強化を図ります。②ウィズコロナ対策やサイバーセキュリティの強化、賠償責任保険の見直しなど安全管理の徹底を行います。③労働時間や休憩・休日関係の見直しなどの労務管理の見直しを図ります。今後も様々な要因を柔軟に対応できる会社経営を目指し、日々改善しながら仕事に取り組みます。

当社については、今期も地域資源を活用して但馬地域の企業や団体との連携による6次産業の振興や活性化を図る事業を展開します。

売店部門では、引き続き神鍋高原の食材を使用した特産品開発を実施します。また、高校生商品の新規開拓、商品品目を増やし、地域貢献を図ります。

飲食部門は、仕入れ材料を見直すとともに費用に見合う販売価格の見直し、また、営業時間や労働時間などの労務改善を行います。また、お客様のニーズ合ったメニュー開発を実施します。

温泉部門は、燃料費（ガス・ペレット）の経費削減を中心として、施設内の不備や顧客対応への安全管理を徹底します。

また、「神鍋ほっこり通信」を毎月発行するとともに、フェイスブックなど多様なチャンネルによる情報発信を行います。さらに、季節の野菜等の販売やイベント開催の告知をする幟旗を新調し、神鍋高原の魅力を分かりやすく施設に設置し発信します。

今年度、但馬ドームのドーム棟の改修工事が予定され、利用できないことから道の駅においても少なからず影響があるものと考えられます。しかしながら、道の駅において神姫バスツアーや全但バスのたじまわる号、学校関係の利用をさらに進めるほか、本年11月にオープンするマリオットホテルの新たな客層の来訪をチャンスと捉え、利用者の確保に努めます。

また、新たな宣伝方法や販売形態を検討し、但馬はもとより市内からの利用者を増やすための仕組みをつくり、多様なニーズに合ったサービスを提供します。

当社においても、今期も「地域と共に創る個性のある道の駅」を目指し、常に話題性に富んだ事業の展開を図り、地域の賑わいを創り出すための取り組みを展開します。

予定損益計画

予定損益計算書

自 令和4年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和5年3月31日

科 目	金	額
(営業損益の部)		円
<b>【売上高】</b>		
売 上	200,000,000	
受 託 料 等	4,000,000	
		204,000,000
<b>【売上原価】</b>		
期 首 棚 卸 高	934,841	
仕 入 高	91,100,100	
材 料 費	9,009,900	
合 計	101,044,841	
期 末 棚 卸 高	934,841	100,110,000
売 上 総 利 益		103,890,000
<b>【販売及び一般管理費】</b>		100,200,000
営 業 利 益		3,690,000
(営業外損益の部)		
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息		
雑 収 入	1,020,000	1,020,000
<b>【営業外費用】</b>		
支 払 利 息 等		
雑 損 失		
経 常 利 益		4,710,000

# 予定販売費及び一般管理費内訳書

自 令和4年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和5年3月31日

科 目	金 額	円
役員報酬	4,300,000	
給料手当	34,700,000	
退職給与引当金戻入	0	
福利厚生費	5,450,000	
雑給	6,180,000	
シルバ-委託費	2,340,000	
広告宣伝費	2,010,000	
運賃	150,000	
燃料費	10,120,000	
衛生費	7,070,000	
水道光熱費	11,000,000	
一括資産償却費	0	
会議費	100,000	
事務費	1,310,000	
消耗品費	3,460,000	
地代家賃	40,000	
支払保険料	540,000	
修繕費	1,000,000	
租税公課	4,370,000	
減価償却費	1,030,000	
接待交際費	400,000	
旅費交通費	100,000	
通信費	430,000	
支払手数料	2,200,000	
貸借料	1,400,000	
諸会費	340,000	
購読費	60,000	
雑費	100,000	
合 計		100,200,000

報告第12号

株式会社シルク温泉やまびこ第18期の決算及び第19期の事業計画に  
関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和4年6月16日提出

豊岡市長 関貫久仁郎



## 決算等の状況の報告

株式会社 シルク温泉やまびこ

## 第 18 期事業報告及び決算報告

### 1 事業の経過及び成果

今期の半分以上が緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発出され、約5か月間だけ通常営業ができました。

通常稼働日におきましては、宿泊ではおすすり料理の販売を強化できました。

売店では重点販売商品の販売を強化できました。温泉では回数券の販売を強化できました。アウトドアも順調に伸ばすことができました。全社で施策に取り組むことができ、11月、12月連続で売上40,000千円を超すことができました。費用面では削減に取り組むことができましたが、後半からの燃料代の高騰で経費が増嵩しました。

### 結果

総売上	297,127 千円	予算比	85.0%	前期比	109.3%
営業利益	△26,896 千円	予算比	22.5%	前期比	127.7%
純利益	9,707 千円	予算比	2078.7%	となりました。	

各部門別売上高は、宿泊 173,993 千円 前期比 107.9%、売店 36,712 千円 前期比 99.2%、温泉 58,953 千円 前期比 113.2%、自然の郷 9,811 千円 前期比 122.0%となりました。

次に各部門別の利用者数は、宿泊 9,414 人 前期比 105.6%、休憩 1,098 人 前期比 100%、温泉 95,022 人 前期比 118.0%、自然の郷 1,899 人 前期比 114.2%となりました。

販売管理費におきましては、水道光熱費 21,254 千円 前期比 105.8%、燃料費 14,833 千円 前期比 184.8%、衛生費 11,538 千円 前期比 96.4%、特に燃料費の高騰により(10あたり平均単価、今期 79.34 円前期 50.29 円)経費が増嵩しました。

また、お客様により喜んでいただけるように、和室の畳張替え、101号室のリニューアルをしました。

来期も役員、社員一丸となり予算達成に取り組んでまいりますので、株主様をはじめ関係者皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 2 事業実績

### 売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第 16 期	第 17 期	第 18 期
宿泊部門	218,464	161,196	173,993
売店部門	48,698	37,012	36,712
温泉部門	89,353	52,095	58,953
自然の郷部門	9,615	8,044	9,811
フィールド部門(注)	216	5,080	8,795
業務委託部門	6,463	6,240	6,255
自販機売上	4,097	2,243	2,608
合 計	376,906	271,910	297,127

(注) アウトドアの売り上げを第 16 期までは、「温泉部門」に計上。第 17 期からは、「フィールド部門」で計上。

### 営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 16 期	第 17 期	第 18 期
営 業 利 益	4,925	△34,357	△26,896
当 期 純 利 益	10,370	△7,080	9,707
総 資 産	106,541	116,523	133,258
純 資 産	87,525	80,446	90,153

### 3 会社の概要

#### (1) 資本金

資本金	50,000,000 円
-----	--------------

#### (2) 株式の状況

発行済株式総数	1,000 株
うち豊岡市保有分	510 株

#### (3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役	岸 本 直 幸
取 締 役	大 井 靖 夫
取 締 役	羽 尻 泰 広
取 締 役	持 田 淳
監 査 役	谷 口 雄 彦
監 査 役	守 本 徹 宏

#### (4) 社員（従業員）の状況

区 分	人 数	構 成
社 員	17	男性 9 人、女性 8 人
パート・契約	9	男性 2 人、女性 7 人
計	26	男性 11 人、女性 15 人

決 算 報 告 書

第 18 期

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

## 貸借対照表

(単位：円)

株式会社 シルク温泉やまびこ

令和 4年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 123,579,137】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 18,311,287】</b>
現金及び預金	112,288,107	買掛金	6,153,367
売掛金	7,189,161	未払金	8,491,197
商品	623,305	預り金	1,478,823
貯蔵品	1,551,596	法人税等充当金	211,500
未収入金	1,863,968	未払消費税	1,976,400
前払費用	63,000	<b>【固定負債】</b>	<b>【 24,794,000】</b>
<b>【固定資産】</b>	<b>【 9,679,201】</b>	長期借入金	24,794,000
(有形固定資産)	( 8,893,201)	負債の部計	43,105,287
建物	460,512	純資産の部	
建物附属設備	1,189,432	<b>【株主資本】</b>	<b>【 90,153,051】</b>
構築物	3,261,574	[資本金]	[ 50,000,000]
車両運搬具	1	[利益剰余金]	[ 40,153,051]
工具器具備品	3,913,922	利益準備金	12,500,000
一括償却資産	67,760	(その他利益剰余金)	( 27,653,051)
(無形固定資産)	( 126,000)	別途積立金	17,000,000
敷金	126,000	繰越利益剰余金	10,653,051
(投資その他の資産)	( 660,000)	(うち当期純利益)	( 9,707,499)
出資金	660,000	純資産の部計	90,153,051
資産の部計	133,258,338	負債・純資産の部計	133,258,338

# 損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額	
<b>【売 上 高】</b>		
宿泊売上高	173,993,090	
売店売上	36,712,254	
温泉売上	58,953,294	
自然の郷売上	9,811,000	
フィールド売上	8,794,926	
業務委託売上	6,254,650	
自販機売上	2,608,188	297,127,402
<b>【売上原価】</b>		
期首棚卸高	950,828	
仕入高	104,041,469	
飲料仕入	4,053,975	
合 計	109,046,272	
期末棚卸高	623,305	108,422,967
売上総利益		188,704,435
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		215,600,507
営業利益		△26,896,072
<b>【営業外収益】</b>		
受取利息	1,571	
雑収入	36,935,295	36,936,866
<b>【営業外費用】</b>		
支払利息・割引料	121,652	121,652
経常利益		9,919,142
税引前当期純利益		9,919,142
法人税等充当額		211,643
当期純利益		9,707,499

## 販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	5,400,000
給 料 手 当	70,022,500
法 定 福 利 費	11,133,270
福 利 厚 生 費	2,126,183
雑 給	199,050
シルバー委託費	7,483,478
広 告 宣 伝 費	3,381,938
運 賃	91,722
サ ー ビ ス 費	2,315,795
燃 料 費	14,833,287
衛 生 費	11,538,436
リ ー ス 料	146,300
外 注 費	15,678,510
水 道 光 熱 費	21,254,435
事 務 費	1,851,657
消 耗 品 費	4,558,872
地 代 家 賃	756,000
支 払 保 険 料	629,990
修 繕 費	14,339,469
租 税 公 課	8,135,730
減 価 償 却 費	1,685,708
接 待 交 際 費	235,533
旅 費 交 通 費	100,850
通 信 費	1,008,015
支 払 手 数 料	10,789,286
賃 借 料	3,680,318
諸 会 費	320,495
購 読 費	163,904
雑 費	1,739,776
合 計	215,600,507

## 株主資本等変動計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ	株 主 資 本										新株予約権	純資産合計	
	資 本 金		資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		其 他 剰 余 金		株 主 資 本 計				評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金	其 他 剰 余 金	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金	其 他 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 計				
当期首残高	50,000,000				12,500,000	17,945,552			80,445,552			80,445,552	
当期変動額													
当期純利益						9,707,499			9,707,499			9,707,499	
当期変動額合計						9,707,499			9,707,499			9,707,499	
当期末残高	50,000,000				12,500,000	27,653,051			90,153,051			90,153,051	

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月 31日

	利 益 剰 余 金		の 内 訳	
	利 益 準 備 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 計
当期首残高	12,500,000	20,000,000	△2,054,448	30,445,552
当期変動額				
剰余金の内訳科目間の振替		△3,000,000	3,000,000	0
当期純利益			9,707,499	9,707,499
当期変動額合計		△3,000,000	12,707,499	9,707,499
当期末残高	12,500,000	17,000,000	10,653,051	40,153,051

## 個 別 注 記 表

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 4年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後  
に取得した建物附属設備・構築物は定額法、  
それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

### 2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …… 21,381,995 円

### 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,000 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分に関する事項

令和4年6月2日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

別途積立金の積立額 …………… 8,000,000 円

次期繰越利益剰余金 …………… 2,653,051 円

### 4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 90,153 円 05 銭

1株当たりの当期純利益金 …………… 9,707 円 49 銭

## 監 査 報 告

私監査役は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの  
第18期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、  
事業報告及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和4年5月18日

監査役 谷 口 雄 彦

監査役 守 本 徹 宏

## 第19期事業計画及び予定損益計画

### 1 事業計画

#### 経営方針

顧客満足度豊岡一番を目指す

#### 経営戦略

危機管理

計画目標に向かって考動

人材育成

健康管理

#### 予算計画

総売上	361,430千円（前期実績	297,127千円、	64,303千円）
営業利益	△5,900千円（前期実績	△26,896千円、	20,996千円）
純利益	619千円（前期実績	9,707千円、	△9,088千円）

#### 各部門のテーマ

宿泊 新たな魅力を創出して、クチコミ満足度毎月4.4以上の維持を目指します

売店 重点販売商品をストーリー付ポップで演出し、売上増を目指します

温泉 温泉の湯100リットル持ち帰り企画で平日入浴者数204名以上を目指します

自然の郷 ワークーションプランで売上増を目指します

アウトドア 家族の思い出作りをエスコートし売上増を目指します

管理 経費の高騰が続きます。使用量の削減を目指します

中長期の計画として、長期勤続によるキャリア形成を図るため、35歳までの社員を募集してまいります。

経営方針に沿って各部門テーマを決め顧客満足度を高め予算達成できるよう役員、社員一丸となり取り組んでまいります。

株主様をはじめ、皆様方の格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

## 2 予定損益計画

## 予定損益計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 令和 4年 4月 1日  
至 令和 5年 3月31日

科 目		金 額	
【経常利益の部】			千円
(営業損益の部)			
【売上高】			
売上高		361,430	
			361,430
【売上原価】			
期首棚卸高		629	
仕入高		131,920	
合計		132,549	
期末棚卸高		629	131,920
	売上総利益		229,510
【販売費及び一般管理費】			235,410
	営業利益		△ 5,900
(営業外損益の部)			
【営業外収益】			
受取利息		9	
雑収入		6,510	6,519
	経常利益		619

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 4年 4月 1日  
至 令和 5年 3月31日

科 目				金 額
				千円
役 員 報 酬				5,400
給 料 手 当				80,850
法 定 福 利 費				13,020
福 利 厚 生 費				2,570
シ ル バ ー 委 託 費				7,950
広 告 宣 伝 費				3,400
運 賃				180
サ ー ビ ス 費				2,890
燃 料 費				15,330
衛 生 費				11,310
リ ー ス 料				150
外 注 費				17,380
水 道 光 熱 費				21,490
事 務 費				1,650
消 耗 品 費				3,240
支 払 保 険 料				690
修 繕 費				12,010
租 税 公 課				12,540
減 価 償 却 費				1,480
接 待 交 際 費				480
旅 交 通 費				120
通 信 費				880
支 払 手 数 料				14,460
賃 借 料				3,600
諸 会 費				420
購 読 費				220
地 代 家 賃				760
雑 費				940
合 計				235,410

第64号議案

令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第4号）

令和4年度豊岡市の一般会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ386,053千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ48,525,170千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和4年6月16日提出

豊岡市長 関 貫 久 仁 郎

# 第 1 表 歳入歳出予算補正

歳入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
16. 国庫支出金		5,660,499	379,181	6,039,680
	2. 国庫補助金	2,862,100	379,181	3,241,281
20. 繰入金		2,527,795	4,968	2,532,763
	2. 基金繰入金	2,482,959	4,968	2,487,927
22. 諸収入		2,697,986	1,904	2,699,890
	5. 雑入	2,115,344	1,904	2,117,248
歳入合計		48,139,117	386,053	48,525,170

## 歳 出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補 正 額	計
2. 総 務 費		6,969,995	7,756	6,977,751
	1. 総 務 管 理 費	6,240,806	3,756	6,244,562
	3. 戸籍住民基本台帳費	224,563	4,000	228,563
3. 民 生 費		13,741,830	265,657	14,007,487
	1. 社 会 福 祉 費	4,112,329	2,140	4,114,469
	2. 老 人 福 祉 費	3,413,482	7,586	3,421,068
	3. 児 童 福 祉 費	5,365,994	255,931	5,621,925
6. 農 林 水 産 業 費		1,985,743	100,000	2,085,743
	1. 農 業 費	1,639,046	100,000	1,739,046
10. 教 育 費		4,086,623	12,640	4,099,263
	6. 保 健 体 育 費	991,829	12,640	1,004,469
歳 出 合 計		48,139,117	386,053	48,525,170



令和４年度豊岡市一般会計  
補正予算（第４号）に関する説明書

# 歳入歳出補正予算事項別明細書

## 1. 総括

(歳入)

(単位 千円)

款	補正前の額	補正額	計
16. 国庫支出金	5,660,499	379,181	6,039,680
20. 繰入金	2,527,795	4,968	2,532,763
22. 諸収入	2,697,986	1,904	2,699,890
歳入合計	48,139,117	386,053	48,525,170



(歳出)

款	補正前の額	補正額	計
2. 総務費	6,969,995	7,756	6,977,751
3. 民生費	13,741,830	265,657	14,007,487
6. 農林水産業費	1,985,743	100,000	2,085,743
10. 教育費	4,086,623	12,640	4,099,263
歳出合計	48,139,117	386,053	48,525,170

(単位 千円)

補 正 額 の 財 源 内 訳			
特 定 財 源			一 般 財 源
国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
7,756			
260,420		269	4,968
100,000			
11,005		1,635	
379,181	0	1,904	4,968

## 2. 歳 入

## (款) 16. 国庫支出金

## (項) 2. 国庫補助金

目	補正前の額	補正額	計
21. 地方創生臨時交付金	673,581	379,181	1,052,762
計	2,862,100	379,181	3,241,281

## (款) 20. 繰入金

## (項) 2. 基金繰入金

目	補正前の額	補正額	計
1. 財政調整基金繰入金	1,614,642	4,968	1,619,610
計	2,482,959	4,968	2,487,927

## (款) 22. 諸収入

## (項) 5. 雑入

目	補正前の額	補正額	計
6. 雑 入	2,114,524	1,904	2,116,428
計	2,115,344	1,904	2,117,248

(単位 千円)

節		金額	説明
区分			
1. 地方創生臨時交付金	379,181	地方創生臨時交付金	379,181

(単位 千円)

節		金額	説明
区分			
1. 財政調整基金繰入金	4,968	財政調整基金繰入金	4,968

(単位 千円)

節		金額	説明
区分			
2. 学校給食徴収金	1,635	学校給食徴収金	1,635
3. 雑入	269	保育所給食費負担金	269

3. 歳 出

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
8. 公共交通対策費	367,074	3,756	370,830	3,756			
計	6,240,806	3,756	6,244,562	3,756			

(款) 2. 総務費

(項) 3. 戸籍住民基本台帳費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
1. 戸籍住民基本台帳費	224,563	4,000	228,563	4,000			
計	224,563	4,000	228,563	4,000			

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
15. 障害者総合支援事業費	2,352,325	2,140	2,354,465	2,140			
計	4,112,329	2,140	4,114,469	2,140			

(款) 3. 民生費

(項) 2. 老人福祉費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
1. 老人福祉総務費	3,034,191	440	3,034,631	440			

一般会計

(単位 千円)

節		金額	説明	
区分	説明		金額	
18. 負担金、補助及び交付金		3,756	バス交通対策事業費 【都市整備課】	3,756
			補助金	3,756
			新型コロナウイルス感染症対応型運行支援事業費	3,756

(単位 千円)

節		金額	説明	
区分	説明		金額	
12. 委託料		4,000	個人番号カード交付事業費 【DX・行財政改革推進課】	4,000
			業務委託料	4,000
			マイナンバーカード出張申請受付業務	

(単位 千円)

節		金額	説明	
区分	説明		金額	
10. 需用費		7	地域生活支援事業費 【社会福祉課】	2,140
			印刷製本費	1
11. 役務費		33	修繕料	6
			通信運搬費	33
18. 負担金、補助及び交付金		2,100	交付金	2,100
			原油価格高騰対策支援金	2,100

(単位 千円)

節		金額	説明	
区分	説明		金額	
27. 繰出金		440	介護保険事業特別会計繰出金 【高年介護課】	440

## (款) 3. 民生費

## (項) 2. 老人福祉費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
(老人福祉総務費)							
2. 老人福祉事業費	122,277	7,146	129,423	7,146			
計	3,413,482	7,586	3,421,068	7,586			

## (款) 3. 民生費

## (項) 3. 児童福祉費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
4. 私立保育所費	2,447,119	4,171	2,451,290	4,171			
5. 公立保育所費	712,363	1,360	713,723	1,091		269	
9. 子育て世帯臨時特別給付金支給費	0	250,400	250,400	245,432			4,968
計	5,365,994	255,931	5,621,925	250,694		269	4,968

(単位 千円)

節		説明	金額
区分	金額		
		介護保険事業特別会計繰出金	440
10. 需用費	17	老人福祉事業費 【高年介護課】	7,146
		消耗品費	10
11. 役員費	43	印刷製本費	1
		修繕料	6
18. 負担金、補助及び交付金	7,086	通信運搬費	43
		交付金	7,086
		原油価格高騰対策支援金	7,086

(単位 千円)

節		説明	金額
区分	金額		
18. 負担金、補助及び交付金	4,171	私立保育園等振興事業費 【こども育成課】	4,171
		補助金	4,171
		物価高騰対策事業費	4,171
10. 需用費	1,360	児童保育運営事業費 【こども育成課】	1,360
		賄材料費	1,360
1. 報酬	1,126	人件費	1,721
		会計年度任用職員報酬	1,126
3. 職員手当等	389	パートタイム職員	1,126
		通勤手当	103
4. 共済費	206	時間外勤務手当	150
		期末手当	136
10. 需用費	312	健保、厚生年金保険料	206
11. 役員費	2,367	子育て世帯への家計応援給付金支給事業費 【市民課】	248,679
		消耗品費	192
12. 委託料	2,000	印刷製本費	120
		通信運搬費	1,025
18. 負担金、補助及び交付金	244,000	手数料	1,342
		業務委託料	2,000
		システム改修業務	
		交付金	244,000
		子育て世帯への家計応援給付金	244,000

## (款) 6. 農林水産業費

## (項) 1. 農業費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
3. 農業振興費	776,614	90,000	866,614	90,000			
6. 畜産業費	4,246	10,000	14,246	10,000			
計	1,639,046	100,000	1,739,046	100,000			

## (款) 10. 教育費

## (項) 6. 保健体育費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
8. 学校給食費	357,635	12,640	370,275	11,005		1,635	
計	991,829	12,640	1,004,469	11,005		1,635	

(単位 千円)

節		金額	説明
区分			
10. 需用費	45	農業振興事業費 【農林水産課】	90,000
		消耗品費	3
11. 役務費	255	印刷製本費	30
		修繕料	12
18. 負担金、補助及び交付金	89,700	通信運搬費	57
		手数料	198
		給付金	89,700
		肥料等生産資材高騰対策支援給付金	89,700
10. 需用費	9	畜産振興事業費 【農林水産課】	10,000
		消耗品費	9
11. 役務費	11	通信運搬費	8
		手数料	3
18. 負担金、補助及び交付金	9,980	給付金	9,980
		飼料等高騰対策支援給付金	9,980

(単位 千円)

節		金額	説明
区分			
10. 需用費	12,640	賄用需用費 【教育総務課】	12,640
		賄材料費	12,640

補正予算給与費明細書

2 一般職

(1) 総括

区分	職員数 (人)	給 与 費				共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
補正後	( 871 ) 873	1,145,040	3,087,478	1,979,041	6,211,559	1,201,520	7,413,079	
補正前	( 870 ) 873	1,143,914	3,087,478	1,978,652	6,210,044	1,201,314	7,411,358	
比較	( 1 ) 0	1,126	0	389	1,515	206	1,721	

( ) 内は、短時間勤務職員

職員手当 の内訳	区分	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	単身赴任手当 (千円)	特殊勤務手当 (千円)
	補正後	102,396	40,486	118,042	1,368	12,605
	補正前	102,396	40,486	117,939	1,368	12,605
	比較	0	0	103	0	0
	区分	時間外勤務手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)	夜間勤務手当 (千円)	管理職手当 (千円)	管理職員特別 勤務手当 (千円)
	補正後	202,600	32,740	9,962	103,727	700
	補正前	202,450	32,740	9,962	103,727	700
	比較	150	0	0	0	0
	区分	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	児童手当 (千円)		
	補正後	818,417	487,198	48,800		
	補正前	818,281	487,198	48,800		
	比較	136	0	0		

ア 会計年度任用職員以外の職員

区分	職員数 (人)	給 与 費				共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
補正後	( ) 799		2,927,655	1,717,440	4,645,095	959,110	5,604,205	
補正前	( ) 799		2,927,655	1,717,290	4,644,945	959,110	5,604,055	
比較	( ) 0		0	150	150	0	150	

( ) 内は、短時間勤務職員

職員手当 の内訳	区 分	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	単身赴任手当 (千円)	特殊勤務手当 (千円)
	補正後	102,396	40,486	68,661	1,368	12,605
	補正前	102,396	40,486	68,661	1,368	12,605
	比 較	0	0	0	0	0
	区 分	時間外勤務手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)	夜間勤務手当 (千円)	管理職手当 (千円)	管理職員特別 勤務手当 (千円)
	補正後	202,600	32,740	9,962	103,727	700
	補正前	202,450	32,740	9,962	103,727	700
	比 較	150	0	0	0	0
	区 分	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	児童手当 (千円)		
	補正後	606,197	487,198	48,800		
	補正前	606,197	487,198	48,800		
	比 較	0	0	0		

イ 会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
補正後	( 871 ) 74	1,145,040	159,823	261,601	1,566,464	242,410	1,808,874	
補正前	( 870 ) 74	1,143,914	159,823	261,362	1,565,099	242,204	1,807,303	
比 較	( 1 ) 0	1,126	0	239	1,365	206	1,571	

( ) 内は、短時間勤務職員

職員手当 の内訳	区 分	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	単身赴任手当 (千円)	特殊勤務手当 (千円)
	補正後			49,381		
	補正前			49,278		
	比 較			103		
	区 分	時間外勤務手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)	夜間勤務手当 (千円)	管理職手当 (千円)	管理職員特別 勤務手当 (千円)
	補正後					
	補正前					
	比 較					
	区 分	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	児童手当 (千円)		
	補正後	212,220				
	補正前	212,084				
	比 較	136				

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区 分	増 減 額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説 明	備 考
給 料	0	給与改定に伴う増減分	0		
		昇給に伴う増加分	0		
		その他の増減分	0		0 千円
職員手当	389	制度改正に伴う増減分	0		
		その他の増減分	389	通勤手当 103 千円 時間外勤務手当 150 千円 期末手当 136 千円	子育て世帯家計応援給付金支給事務に係るもの



## 歳入補正予算総括表

款	名 称	補正前の額	補 正 額	計
16	国 庫 支 出 金	5,660,499	379,181	6,039,680
20	繰 入 金	2,527,795	4,968	2,532,763
22	諸 収 入	2,697,986	1,904	2,699,890
歳 入 合 計		48,139,117	386,053	48,525,170

(単位 千円)

主  な  内  容			
地方創生臨時交付金	379,181		
財政調整基金	4,968		
学校給食徴収金	1,635	保育所給食費負担金	269

## 歳出補正予算総括表

	款 名 称	補正前の額	補 正 額	計
2	総 務 費	6,969,995	7,756	6,977,751
3	民 生 費	13,741,830	265,657	14,007,487
6	農 林 水 産 業 費	1,985,743	100,000	2,085,743
10	教 育 費	4,086,623	12,640	4,099,263
	歳 出 合 計	48,139,117	386,053	48,525,170

(単位 千円)

主 な 内 容			
バス交通対策事業費	3,756	個人番号カード交付事業費	4,000
人件費	1,721	地域生活支援事業費	2,140
介護保険事業特別会計繰出金	440	老人福祉事業費	7,146
私立保育園等振興事業費	4,171	児童保育運営事業費	1,360
子育て世帯への家計応援給付金支給事業費	248,679		
農業振興事業費	90,000	畜産振興事業費	10,000
賄用需用費	12,640		

## 歳出節別補正予算

(単位 千円)

番号	節 別	補正前の額	補 正 額	計
1	報 酬	1,355,927	1,126	1,357,053
3	職 員 手 当 等	2,034,421	389	2,034,810
4	共 済 費	1,246,575	206	1,246,781
10	需 用 費	1,602,858	14,390	1,617,248
11	役 務 費	434,992	2,709	437,701
12	委 託 料	6,099,183	6,000	6,105,183
18	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	10,701,873	360,793	11,062,666
27	繰 出 金	2,832,974	440	2,833,414
歳 出 合 計		48,139,117	386,053	48,525,170

## 歳出性質別補正予算

(単位 千円)

番号	性 質 別	補正前の額	補 正 額	計
1	人 件 費	8,223,052	1,618	8,224,670
2	物 件 費	8,041,104	23,202	8,064,306
5	補 助 費 等	9,671,623	360,793	10,032,416
13	繰 出 金	2,832,974	440	2,833,414
歳 出 合 計		48,139,117	386,053	48,525,170



第65号議案

令和4年度豊岡市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

令和4年度豊岡市の介護保険事業特別会計補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ440千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10,036,458千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和4年6月16日提出

豊岡市長 関 貫 久 仁 郎

# 第 1 表 歳入歳出予算補正

歳入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
7. 繰入金		1,689,945	440	1,690,385
	1. 一般会計繰入金	1,655,229	440	1,655,669
歳入合計		10,036,018	440	10,036,458

## 歳 出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補 正 額	計
3. 地 域 支 援 事 業 費		644,088	440	644,528
	3. 包括的支援事業・任意事業	214,627	440	215,067
歳 出	合 計	10,036,018	440	10,036,458



令和4年度豊岡市介護保険事業特別会計  
補正予算（第2号）に関する説明書

# 歳入歳出補正予算事項別明細書

## 1. 総括

(歳入)

(単位 千円)

款	補正前の額	補正額	計
7. 繰入金	1,689,945	440	1,690,385
歳入合計	10,036,018	440	10,036,458



(歳 出)

款	補正前の額	補正額	計
3. 地域支援事業費	644,088	440	644,528
歳出合計	10,036,018	440	10,036,458

(単位 千円)

補 正 額 の 財 源 内 訳			
特 定 財 源			一 般 財 源
国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
		440	
0	0	440	0

2. 歳 入

(款) 7. 繰入金

(項) 1. 一般会計繰入金

目	補正前の額	補正額	計
3. 地域支援事業繰入金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業）	39,824	440	40,264
計	1,655,229	440	1,655,669

(単位 千円)

節		金額	説明
区分			
1. 現年度分	440	地域支援事業繰入金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業）	440

3. 歳 出

(款) 3. 地域支援事業費

(項) 3. 包括的支援事業・任意事業費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
4. 任 意 事 業 費	40,224	440	40,664			440	
計	214,627	440	215,067			440	

(単位 千円)

節		金額	説明
区分			
10. 需用費	20	家族介護用品支給事業費 【高年介護課】	440
11. 役務費	10	印刷製本費	20
		通信運搬費	10
19. 扶助費	410	家族介護用品給付費	410

